

おおやしきしまんとのしずくせいさんしゃくみあい
大屋敷四万十のしずく生産者組合

～野生鳥獣に強い集落づくり～



金網柵設置勉強会



取組事例発表

経緯

- 獣害により生産意欲が減退する中、「なんとか集落全員で被害を無くそう、自分達の集落は自分達で守ろう」と活動を始動。
- 平成27年8月に大屋敷四万十のしずく生産者組合を設立

取組内容

- 県、市役所、関係機関と一緒に野生鳥獣に強い集落づくり事業の説明会や被害状況調査を実施。
- 集落全体で捕獲や防護柵の設置。
- 地域の特産農水産物を個人向けその他、東京都内の飲食店やスーパーに出荷。

活動の効果

- 「漁網で獣害0」をキャッチフレーズに集落全員で漁網を設置した結果、被害は激減。鳥獣による被害はほぼゼロに。
- 生産者組合の設立により地産外商に注力。山菜・野菜・果樹・米に加え川エビ・鮎・鰻・猪肉なども販売し、組合員の励みとなる。

応募団体からのアピール・メッセージ

野生鳥獣に強い集落を作るには、被害状況の把握や環境整備、地域住民同士の協力、各関係機関や鳥獣被害対策専門員との連携が不可欠です。個人では困難なことも集落で団結すれば可能になります。鳥獣被害対策は地域づくりです。地域が一つになって取り組めるよう働きかけています。